



史跡足利学校

しせきあしかががっこう

Spot Guide 01

空も高く、風も清々しいこの季節。どこか出かけてみようか？でも足利には足利学校があるじゃないか。久しぶりの人も、実はまだの人も、遠くへ出かける前に…そうだ、足利学校へ行こう。史跡足利学校事務所の補助職員、孔子の76代目子孫でもある孔佩群さんに、案内をお願いした。



友好都市である済寧市から贈られた孔子像。



学校門は足利学校のシンボル。

市民の心よりどころ、国指定史跡足利学校は、日本最古の学校。日本の教育の原点がここにあるといっても過言ではありません。儒学の祖、孔子をまつた日本最古の孔子廟があります。この孔子像は珍しい座った姿で、まるで仏像のよう。立像が一般的なので、中国からのお客様が見ると「あれっ？」と思うそうです。

創建については諸説ありますが、度重なる火災などで資料が残っておらず、はっきりしていません。歴史が明らかなのは室町時代、上杉憲実が再興したこと。現在国宝に指定されている書籍などを寄進し、座主（学長）制度を設けるなどシステムを整えました。最盛期には全国から3000人以上が集まり学んでいたといわれます。現在の学校のように何年で卒業というきまりはありません。長い人では10年以上かけて、自分の納得するまで学んだら果立っていききました。1959年にはフランスコングレガチオンにより「日本国中最も大にして、もつとも有名な坂東の大学」と世界で紹介されました。

学問は儒学中心。時代の変化に応じ、易学・兵学・医学などが教育に加わってきました。足利学校は上杉氏、北条氏、徳川氏の保護を受けて、文字通り総合大学として発展してきました。中でも徳川幕府は、秩序や礼節を重んじた儒学を政策に利用しました。初代・家康を筆頭に歴代の将軍たちの位牌が祭られており、つなかりの深さを物語っています。

孔子廟の東側の敷地には小学校がありました。学校の移転を機に史跡保存事業がスタート。1990年に方丈、庫裡、書院などが、学校が最も栄えた江戸時代中期の姿に復元されました。

学術的に意義深い書籍もたくさんあります。宋時代の漢籍、元、明朝の本や日本の古写本などが1万7000冊あります。うち国宝が4種77冊、重要文化財が8種98冊。収蔵庫や旧遺蹟図書館などで大切に継承されています。

旧遺蹟図書館

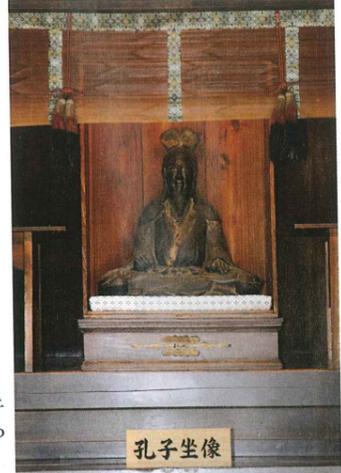
市重要文化財でもある旧遺蹟図書館。足利学校伝来の書籍の保存を目的に建てられました。雰囲気がありますね。



学生たちが一生懸命学んだ場所、方丈。写真映える凛とした姿です。



徳川四代将軍家綱のときに造営されたという孔子廟。日本で一番古いんです！



孔子坐像

孔子

ここに祭られている孔子は珍しい坐像。仏像っぽい雰囲気です

松降字

「かなふりまつ」と読みます。読めない字や意味のわからない言葉を書いて枝に結んでおくと、翌日には答えがついていたそうです。現在は「字降ポスト」があり、投函された質問には職員が丁寧に答えています。



南庭園の池は鶴が羽ばたく形をしています。対する北庭園は亀の形。築山も美しい。



「学校」「杏壇」の字に歴史を感じます。

孔子の思想「中庸」を表現した宥座の器。水を入れすぎるとこぼれてしまう、腹八分目を表現しています。



毎年11月23日に開かれる孔子祭「釋奠（せきてん）」で使われる祭器。「豆」の漢字のもとになった器も！



孔子76代目子孫

孔佩群 Kong Peiqun

誕生日：昭和52年10月31日 血液型：O型
 趣味：読書、旅行、健康作り、執筆、映画
 足利学校の歴史や施設、それから師範精神あるスタッフ達に一目惚れしてしまい今に至る。

Profile



《おもてなしの心で市民総コンシェルジュ運動》

足利学校参観者倍増計画を打ち出している市では、市外の人を伴っていくと市民は無料、市外からは団体料金で参観できるキャンペーンを行っている。Ca-gamin!で予習を済ませたら、友人を誘ってレッツゴー！

<p>【参観料】 ※消費税を含んでいます。 一般：400円 (330円) 高校生：210円 (160円) ※ () 内は団体20人以上の料金です。 ※中学生以下、身体障害者は無料です。 ※Suica (スイカ)、PASMO (パスモ) が利用できます。</p>	<p>【受付時間・休館日】 受付時間：4月～9月 9:00～16:30 / 10月～3月 9:00～16:00 休館日：第3月曜日 (祝日・振り替え休日の時は翌日) 年末 (12月29日～12月31日) ※管理上やむを得ず休館する事があります。</p>
<p>【問合せ】 史跡足利学校事務所 TEL0284-41-2655</p>	